

令和元年度財務情報

自 平成 3 1 年 4 月 1 日
至 令和 元 年 3 月 3 1 日

学校法人新潟総合学園

I 全般的な財務状況の説明

1) 資金収支計算書

資金収支計算書とは、学校法人の各年度における諸活動をお金の動きに着目して表したものです。教育研究に対する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）が明らかにされています。

令和1年度における施設・設備関係支出は経常的なものであり、前年度・次年度の繰越支払資金を除いた収入の合計と支出の合計はほぼ同額となっており収支の均衡が保たれている状態であるといえます。

2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書とは、経営状況を表すものであり学校法人会計基準において「当該会計年度の教育活動、教育活動以外および臨時的な収支ならびに基本金組入額を表示し均衡の状態を明らかにするために行う」と規定されております。

令和1年度は、新潟医療福祉大学における学科新設（平成30年度：診療放射線学科、平成29年度：救急救命学科）および既存学科定員増（平成28年度：理学療法学科）ならびに新潟食料農業大学の開学による学生生徒等納付金の増加を要因として教育活動収入計が5%以上増加しました。

これらに伴う経費増の影響で収支差額としては減少しておりますが、計画通りのことであり特段問題ありません。

3) 貸借対照表

貸借対照表とは、一定時点(3月末現在)の財産の状況を明らかにする計算書類であり、教育研究活動を行うために必要となる資産の保有状況とそれらの資産の取得源泉である負債、基本金および消費収支差額を対照して、その充足状態を計る仕組みです。

令和 1 年度は、大きな設備投資がなかったことから、昨年度比で資産は 575 百万円、1.9%減、負債は 735 百万円、8.5%減と規模は縮小しましたが、純資産は 159 百万円、0.7%と増加しており、計画通りの状態であるといえます。

なお、流動負債のうち、1,321 百万円は新入生からの授業料等の前受金であり、新年度には学生生徒等納付金として収入に振り替えたうえで教育研究活動の費用に充てられていくものです。学校法人会計基準により負債へ算入していますが、弁済義務のあるものではありません。